

ホクギンレポート

新潟県における食品製造業の現状と取り巻く環境の変化

要 旨

1. 食品関連産業の国内総生産は全産業の約1割を占め、大きな比重を占める産業である。農業が盛んな新潟県では、食品製造業の発展も著しく、全国的に見ても上位に位置している。また、本県製造業全体に占める食品製造業の割合も高く、本県の基幹産業の一つと言える。労働集約的な産業であるため、生産効率という面では他製造業に遅れをとっているものの、事業所数、従業者数、製造品出荷額等ともに他産業に比べて安定した推移を見せている。
2. 戦後、私たちの生活水準が高まるとともに、食生活も豊かになった。また、家族の形態や、ライフスタイルが変化することにより、「食の外部化」が進み、近年では特に「中食」の市場が拡大している。これにともない、新潟県の食品製造業の構成も変わってきており、特に「中食」関連の出荷が増えている。その一方では、本県食品製造業の基幹である米菓、清酒などは時を経て常に上位に位置し、安定した生産、出荷を行っている。
3. 最近、食品に関する状況に様々な動向が見られる。時代とともに私たちの食生活は豊かになるとともに、欧米化も進み、食料自給率が一層低下している。このため、食料の輸入が増えているが、世界の食料の生産・消費動向には変化が見られ需給動向が厳しくなっているうえ、穀物等の価格高騰が生じるなど厳しい状況がうかがえる。一方、国内においては食品メーカーにおける安全・安心面でのニュースが増えており、消費者の関心が高まっている。
4. 最近、「食」に関する不安なニュースをよく耳にする。一部食品メーカーの偽装や不正の発覚、あるいは食料自給率の問題など。多くのメーカーが安全・安心に配慮して生産しているなか、不安を与えるような出来事が続かないでほしいものである。ライフスタイルの変化、家族の変化などから食生活が変化し、それとともに県内食品メーカーの姿も変化を遂げてきた。消費者のニーズにともない食品メーカーの変化は続くのであろうが、今後とも私たちに喜びを与えてくれるような「食」の提供を期待していきたい。

構 成

第1章

新潟県における食品製造業の現状

- ・はじめに
- ・食品関連産業の市場規模
- ・新潟県の食品製造業の現状と全国の位置
- ・県内食品製造業の動向と特徴

第2章

変化を見せる県内食品製造業

- ・ライフスタイルの変化と私たちの食生活
- ・品目別に見た新潟県の食品製造業と最近の変化
- ・全国に名を馳せる本県製造の食品の現状

第3章

「食」をめぐる環境の変化と食品製造業

- ・「食」をめぐる最近の動向は
- ・食生活の変化と食料自給率
- ・懸念される輸入穀物や水産物等の価格高騰
- ・「食」の安全・安心

第4章

今後の「食」へ期待を込めて

- ・「食」をめぐる最近の状況は
- ・変化を遂げる県内食品製造業
- ・今後の「食」への期待